

グロリオサの草丈を低くする催芽方法



変温処理により草丈を短くした「ミサトレッド」の栽培の様子（茎を折り曲げずに栽培）

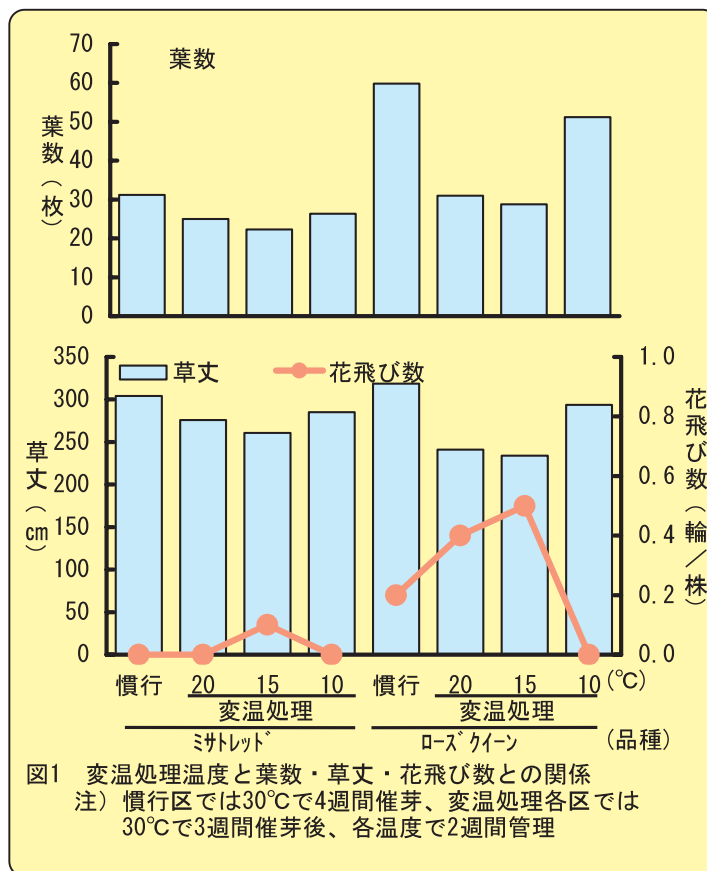


図1 変温処理温度と葉数・草丈・花飛び数との関係
注) 慣行区では30℃で4週間催芽、変温処理各区では30℃で3週間催芽後、各温度で2週間管理

グロリオサは、草丈が2m以上となる品目です。特に夏季には節間が伸びて3m以上となることもあり、茎の折り曲げ作業が大変な労力となります。そこで、夏季の栽培において、定植前の催芽方法を変えることで草丈を短くする方法を検討しました。

その結果、花らいを6輪残して採花した場合、30℃で4週間催芽して定植する慣行法では、草丈は「ミサトレッド」では304cm、「ローズクイーン」では319cmでした。一方、30℃で3週

間催芽後、15℃で2週間変温管理して定植すると葉数が減少することから、草丈はそれぞれ261cm、234cmと43～85cm短くなりました。しかし、この処理法では、1～2番花に多少の花飛びが発生して花らい数が減少しました。

今後は、花飛びを発生させずに草丈を短くするため、変温処理までの催芽期間や変温処理期間等について検討する予定です。

（花き担当 二宮 千登志 088-863-4918）

高知県農業技術センターニュース 第41号

平成17年10月1日

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

農業技術センター山間試験部

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王3523-7

TEL (0887) 72-0058

FAX (0887) 72-1544

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/se/home/>

編集発行 高知県農業技術センター

所長 吾妻 浅男

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/knkyu/kaju/>

茶業試験場

〒781-1801 高岡郡仁淀村森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/kenkyu/tya/>